令和4年11月28日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名　特定非営利活動法人
国際協力NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので，下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名： 国際協力キャリアフェア2022

企画実施概要： ①企画内容：国際協力分野でのキャリアを考えている来場者に対し、求められる人材や職種、待遇面や情報入手の方法など、NGOへの就職を目指す上で必要とされる知識や心構えなどについて情報提供および、相談対応を実施する。

②目的：国際協力分野でのキャリアに関する具体的な情報の提供および相談を実施することで、国際協力およびNGOに対する理解促進をはかる。

③対象：国際協力業界での就職を考えている大学生、大学院生、社会人
（オンライン全体講話およびオンライン個別相談対応：計19名

2　出張者氏名　伊藤衆子、山口悠佳

3　依頼元／主催団体名　株式会社国際開発ジャーナル社

4　実施予定日時　令和3年11月27日　（ 土 ）　10：00～18：00

5　実施場所　オンライン（zoom）

6　実施報告　当日の参加人数は例年に比べ少なかったが、その分個別対応にて、じっくり相談対応することができた。
NGOの就職条件や求められるスキル、働き方についての相談が多くあり、実体験を紹介しつつ、情報収集サイトや必要なスキルなどについてアドバイスを行うことができた。

＜参加者の声＞
社会人：NGO業界への転職について、求められるスキルや分野について知ることができ、これまでのキャリアが活かせることがわかったため、前向きに検討していきたい。
学生：NGOへの就職は、新卒と転職どちらがよいのか迷っていたが、NGOの採用状況や求められる条件・スキルがわかったので、今後の進路を考える上で参考にしていきたい。

7　写真

個別相談の風景
（※参加者の顔はプライバシー観点から削除しています。）

（写真1）

個別相談の風景
（※参加者の顔はプライバシー観点から削除しています。）

（写真2）

以上

2022/12/5

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　「道徳プラス公開授業」

企画実施概要：　①実施内容：NGOによる国際協力の役割や位置づけ、国際的な潮流、日本のNGOによる支援の特徴および貧困削減や平和構築など援助全般について学ぶ。

②対象者および参加人数：280人

2　出張者氏名　木村 茂

3　依頼元／主催団体名　茨城県立水海道第一高等学校

4　実施予定日時　2022/11/5　（ 土 ）　9:45～11:45

5　実施場所　茨城県立水海道第一高等学校（茨城県常総市）

6　実施報告　NGOによる国際協力の役割や位置づけ、国際的な潮流、日本のNGOによる支援の特徴および貧困削減や平和構築など援助全般について、同校で講演を行った。
参加した生徒たちからは、国際協力について以前よりはっきりと理解できた、ODAとNGOの国際協力の違いについて理解できた、現在の国際協力の抱える課題が分かった、自分たちの暮らしと国際協力のかかわりについて知ることができた、といった感想が得られた。

7　写真

指定された教室からオンラインで講演を行っているところ。

講演後、7教室すべてを回って質問を受けたりアドバイスを行っているところ。

以上

令和4年12月1日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
開発教育協会（DEAR）

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　「SDGsよこはまCITY秋」

企画実施概要：

①実施内容
神奈川県内を中心に活動するNGOや国際協力、開発教育や国際理解教育に関連する団体が一堂に会する「SDGsよこはまCITY」において、開発教育ワークショップを実施する。また、参加者からの開発教育・国際協力に関する相談対応を行った。

②対象者および参加人数
国際協力・国際交流・多文化共生に関心のある市民、NGO・NPO団体、学生等　5名

2　出張者氏名　岩岡由季子

3　依頼元／主催団体名　よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会

4　実施予定日時　令和4年11月5日　（土）　10:00　～　12:00

5　実施場所　オンラインにて開催

6　実施報告

「気候危機と私たち」をテーマにワークショップを実施した。大学生と社会人（学校教員、NGO職員）の方など全5名の参加があった。気候変動に関するクイズを行い、気候変動の影響を受けている人々のエピソードを読み、気候変動に対して私たちができることについて意見交換を行った。参加者の方からは「気候変動が気候危機となぜ言われるのか、をよく知ることができた」「他の参加者とのディスカッションで気づかされることが多かった」「一人ひとりにできることもあるが、大胆なシステムチェンジを促していくことが大事だと思った」といった声が聞かれた。

参加者からの相談コーナーも設け、国際交流協会の職員より、ワークショップの内容に関連して、気候変動とSDGsについての学習を進める上で、参考となる資料や教材についての相談があった。

7　写真

<table>
<tr>
<td>
</td>
<td>
</td>
</tr>
<tr>
<td>スライド資料（抜粋）</td>
<td>スライド資料（抜粋）</td>
</tr>
</table>

以上

令和4年11月29日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名　特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので，下記のとおりご報告します。

記

１　企画名および企画概要

企画名： 福井県立武生東高等学校における国際科講演会

企画実施概要：
①企画内容
同校の国際科の授業の一環として、国際協力NGOの役割及び一個人のできることをテーマに英語で講演を行った。

②対象者および参加人数
国際科の生徒　2～3年生（82名）

２　出張者氏名 認定NPO法人アイキャン　古谷小夏

３　依頼元／主催団体名 福井県立武生東高等学校

４　実施日時 2022 年 11 月 18 日（金）15:25～16:25

５　実施場所 福井県立武生東高等学校 AV室（福井県越前市）

６　実施報告 国際課題の解決において、NGOの役割と一個人の立場からできることについて英語で講演を実施し、主に貧困、子どもの権利とそれに取り組むNGOの活動を取り上げた。又、講演の後半には学生の立場から一個人が参加できる例を紹介した。特に貧困の中で暮らす子どもたちの現状や生活状況について高い関心が示され、「世界各国の様々な状況を理解できるよう言語を学びたい」「ボランティアや募金活動に参加していきたい」といった積極的な意見も聞かれた。今回の講演を通じて国際協力の分野における活動への理解及び学生が自ら行動を起こす意欲に貢献することができた。

７　写真

<table>
<tr>
<td>
</td>
<td>
</td>
</tr>
<tr>
<td>路上の子どもたちの生活状況やインタビューの動画を含め、「子どもの権利」の観点から貧困について考える時間を設けた。</td>
<td>講演後の感想では、教育を受けられるのは当たり前ではないことに、驚きとともに「自分も貧困の現状について周囲へ伝えたい」との声が聞かれた。</td>
</tr>
</table>

（写真１）　（写真２）

以上

令和4年11月3日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「清水寺で世界を語る」での相談ブース対応

企画実施概要: ①実施内容:「NGO相談員ブース」において、NGO相談員のチラシ配布、来場者の相談対応およびNGO相談員団体の紹介など、国際協力に関する情報を提供した

②対象者および参加人数
礼拝者500名のうち19名

2 出張者氏名 栗田 佳典、佐野 光平

3 依頼元／主催団体名 清水寺で世界を語る実行委員会

4 実施予定日時 令和4年11月3日(木)) 11:00 ～ 16:00

5 実施場所 〒605-0862 京都府京都市東山区清水1丁目294 清水寺

6 実施報告 ウクライナ以外の難民問題に触れることができた。今も世界にたくさんの難民の人がいることを知らなかった。

NGO相談員制度について始めて知った。知り合いの学校の先生に広めたいと思う。

SDGsという言葉をよく聞くが、誰一人取り残さないことの重要性について改めて考える機会を得た。

7 写真

国際協力NGO活動の紹介とブースの広報	ブース出展相談対応の様子

以上

令和4年11月26日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「京都ヒューマンフェスタ2022」での相談ブース対応

企画実施概要: ①実施内容:「NGO相談員ブース」において、NGO相談員のチラシ配布、来場者の相談対応およびNGO相談員団体の紹介など、人権・国際協力に関する情報を提供した。

②対象者および参加人数
来場者約300名のうち20名

2 出張者氏名 高橋　千絢、佐野　光平

3 依頼元／主催団体名 京都府

4 実施予定日時 令和4年11月26日　10:00～16:00

5 実施場所 〒602-8588 京都府京都市上京区 上長者町 KBS京都放送会館
(KBSホール 京都ガーデンパレス)

6 実施報告

・人権やSDGsに関心があり、ヒューマンフェスタに参加したが、今後行われる国際協力イベントについて知れてよかった。今日教えていただいたいイベントにぜひ参加してみたいと思った。

・人権問題に関心があってイベントに参加したが、国際NGOについても興味があったものの、相談する機会がなかったので、詳しく知ることができて良かった。

外国籍の知人がNGO等への就職を考えている。多国籍な人材の採用が進んでいることを知ったため、伝えたいと思う。

7 写真

<table>
<tr><td> </td><td>
</td></tr>
<tr><td>ブース相談対応の様子</td><td>京都ヒューマンフェスタで活動紹介をする様子</td></tr>
</table>

以上

令和4年11月30日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名： PL学園中学校・高等学校での講演

企画実施概要： ①実施内容：PL学園中学校・高等学校にて国際協力とはなにかについて講演を行った。中学生・高校生の方たちに国際協力に関する理解を深めた。

②対象者および参加予定人数：
中学生 43名（1年生 7名、2年生 9名、3年生 27名）
高校生 75名（1年生 15名、2年生 20名、3年生 40名）

2　出張者氏名 仲井友佳子（他、PHD協会より1名）

3　依頼元／主催団体名 PL学園中学校・高等学校

4　実施予定日時 令和4年11月29日（火）　13:00 ～ 14:20

5　実施場所 PL学園中学校・高等学校
（大阪府富田林市喜志2055）

6　実施報告

・自分は地球の環境について興味があり紛争とかで困っている人を助けたいと思っていたので今回の講演は分かりやすくすごく良かったと思いました。

・今回、様々な種類のNGOのネットワークとしてのNGOがあることを初めて知りました。私たちの便利な生活の裏で劣悪な環境での労働が海外で行われているのは良くない事だと思いました。

・そういう団体があるのは知っていたけど具体的な活動内容が知れてとても勉強になりました。興味があっても自分から踏み出せないことがほとんどなので地元に帰った時とかイベントやってたら見てみようかなとは思いました。

7　写真

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>PL学園高等学校の講堂で講演をする様子①</td><td>PL学園高等学校の講堂で講演をする様子②</td></tr>
</table>

以上

令和4年11月17日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名　公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので，下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　神戸YMCA学院専門学校での講演

企画実施概要：

①実施内容
神戸YMCA学院専門学校の「多文化共生考」というクラスにおいて、なぜミャンマーでクーデターが起きているのか、ミャンマーの人たちは今どう過ごしているのか等について講演を行う。

②対象者および参加人
ホテル学科の学生　12名

2　出張者氏名　坂西卓郎

3　依頼元／主催団体名　ホテル学科の学生　12名

4　実施予定日時　令和4年11月17日　（ 木 ）　13:20～15:10（50分×2コマ）

5　実施場所　神戸YMCA学院専門学校
（兵庫県神戸市中央区加納町2-7-11）

6　実施報告

神戸YMCA学院専門学校の「多文化共生考」にてミャンマーについて講演した。主にはクーデターの経緯、市民による草の根の民主化運動、現在の状況、今後の展望、私たちにできることをテーマに講義を行った。

学生からの感想は以下の通りである。

・「ミャンマーで内戦が起きていることは知っていたんですけど、起きた理由までは知りませんでした。選挙は民主主義の象徴なのにその選挙の結果を不正していると言って反発するのはぜったいにおかしいと思いました」
・「ウクライナの支援所にはたくさん人が集まっているのに、ミャンマーの方には人がいない絵がとても印象的で、ミャンマーのクーデターについて私たちや周りの国が支援をあまりしていない上に、どんな状況なのかすらあまり知らないことに気づきました」
・「小さい子など、まだまだ遊んだり勉強したいと思うのに、避難をしていたり、自分の落ち着く家ではなく、ジャングルで寝泊りをするなど、聞いていて胸が苦しくなりました。何の罪もない方が、不平等でつかまったり、差別などをされるのは、ちがうなと感じました。」

7　写真

講義の様子（写真1）

講義の様子全体像（写真2）

以上

令和4年11月24日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名　公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので，下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　大阪信愛学院高等学校での講演

企画実施概要：

①実施内容
大阪信愛学院高等学校で学期に1回開催される人権ロングホームルームにおいて、人権と多文化共生について講演を行った。

②対象者および参加人
高校3年生　96名　教職員　5名

2　出張者氏名　坂西卓郎

3　依頼元／主催団体名　大阪信愛学院高等学校

4　実施予定日時　令和4年11月18日　（ 金 ）　14:30 － 15:20

5　実施場所　大阪信愛学院高等学校
（大阪市城東区古市2-7-30）

6　実施報告

大阪信愛学院高等学校の人権ロングホームルームにて人権と多文化共生について講演した。主にはSDGsから考える「人権」及びウクライナ避難民受入れ活動をテーマに、ワークショップを交えながら講義を行った。

学生からの感想は以下の通りである。

・「私も貧しい国の人たち（子供）を救いたい！自分たちは無力で出来ることが限られているが、（例：文具などを送るとか、お金を集めて送るとか）はやく大人になって直接ふれて救ってあげたい！」
・「ウクライナなど戦争が起きている所で、勝手に戦争にかり出された人々がいて、その人たちは何かしら傷をおっていることに気づいた。私たちにできることは、少しでも戦争が終わるように戦場からの避難を受け入れることや、少しでも食糧などの支援をしていくことだと思う。」
・「自分とはまったく違う生活をしている人がいる、生きられない人だっているといった当たり前のことを苦しんでいる人達がいるのに意識しなくても良いのか？どうしてこのような授業が行われるまで深く考えられないのか？と少し寂しくなった。子供達の生死や人権、移民の方を身近に感じた。言語の通じない人ととれるコミュニケーションの方法を考えたい。」

7　写真

NGO相談員について説明している様子（写真1）

講義の様子全体像（写真2）

以上

令和4年11月24日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名　公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので，下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　兵庫県立明石清水高校での講演

企画実施概要：
①企画内容：明石清水高校にて国際協力NGOによる多文化共生の取り組みについて講演を行う。
②目的：高校生の方たちに国際協力NGOの活動及び多文化共生に関する理解を深めていただく。

③対象者および参加人数
2年生34名　教員4名

2　出張者氏名　坂西　卓郎

3　依頼元／主催団体名　兵庫県立明石清水高等学校

4　実施予定日時　令和4年11月24日　（ 木 ）　10:45～12:35

5　実施場所　兵庫県立明石清水高等学校（兵庫県明石市）

6　実施報告

明石清水高校の「人と環境コース」の二年生にSDGsの概要から一歩踏み込んだ内容としてSDGs．8「働き甲斐も経済成長も」を取り上げ、移住労働者、難民について講義を行った。1コマ目で移住労働者と難民について講義をして、2コマ目で難民の状況を疑似体験するワークショップを行った。生徒の感想は以下の通りである。

・（ワークショップで疑似体験をして）難民になると言語が違うのと人権・文化も違うので差別されるのではないかなと不安になりました。
・言葉もわからないし、何も説明されていないのでわからないことばかり
・どうやって仕事や家を見つけていけばいいのか。

難民の状況を疑似体験することで、多文化共生を自分事として捉えることが達成できたと思われる。

7　写真

NGO相談員制度について説明をしているところ	ワークショップ中に学生に質問を投げかけている様子

（写真1）　（写真2）

以上

令和4年11月30日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名　公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので，下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　PL学園中学校高等学校での講演

企画実施概要：

①実施内容
PL学園中学校・高等学校にて国際協力とはなにかについて講演を行った。

②対象者および参加人
中学生　43名　教職員　4名

2　出張者氏名　三宅茉依

3　依頼元／主催団体名　PL学園中学校高等学校

4　実施予定日時　令和4年11月29日　（ 金 ）　13:20 – 14:10

5　実施場所　PL学園中学校・高等学校
（大阪府富田林市喜志2055）

6　実施報告

PL学園中学校の国際理解教育の授業にて当会の研修生も同行し、国際協力とは何かについて講演した。講義の目的としては「中学生の方たちに国際協力に関する理解を深めていただく」とあり、主には国際協力に関する仕事や活動の種類や内容について講義を行い、当会の研修生からもネパールのことや地域の問題について紹介した。

冒頭、「国際協力について知っているかどうか」について質問をしたところ、ほとんどの学生が「知らない」と答えており、「国際協力のイメージ」については「国と国が助け合うこと」「NPOなどの活動」「軍事支援」などが挙げられた。講演では、国際協力に携わるためには寄付やボランティアから仕事まで様々な選択肢があることについて経験をもとにお伝えし、当会研修生からはネパールの中学生の話やカースト制度の問題について紹介した。質疑応答の際には、学生から積極的に質問があり、当会の研修生には「たった6か月でこんなに日本語をうまく話せるようになるにはどのような勉強を行ったのか」「日本での研修で目標としていることは何か」について質問があった。

7　写真

NGO相談員について説明している様子（写真1）

講義の様子全体像（写真2）

以上

令和4年12月5日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
テラ・ルネッサンス

ＮＧＯ相談員による出張サービス実施報告

ＮＧＯ相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　「清水寺で世界を語る」での相談ブース対応

企画実施概要：　①実施内容：「NGO相談員ブース」において、NGO相談員のチラシ配布、来場者の相談対応およびNGO相談員団体の紹介など、国際協力に関する情報を提供すること。

②対象者および参加人数：参加者５００名のうち相談者２名

2　出張者氏名　小田起世和

3　依頼元／主催団体名　清水寺で世界を語る実行委員会

4　実施予定日時　令和4年11月3日　（木）　11：00　～　16:00

5　実施場所　清水寺（住所：京都府京都市東山区清水1丁目294）

6　実施報告　１）学生よりNGOにおける働き方、ならびに同セクターへの就職のために必要なことなどについて質問を受け、相談員自身の経歴と、弊会職員の事例をもとに回答をした。２）NGO関係者より組織運営について質問を受け、弊会の組織基盤整備のプロセスを中心に回答した。

7　写真

<table>
<tr>
<td> </td>
<td> </td>
</tr>
<tr>
<td>（NGO関係者より組織運営について
質問を受けている様子）</td>
<td>（学生よりNGOにおける働き方などについて
質問を受けている様子）</td>
</tr>
</table>

以上

令和4年12月5日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名:　松江市立皆美が丘女子高等学校の生徒への異文化理解に関する講演

企画実施概要:

①実施内容
女性の人権が十分に保護されていない地域での、女性の健康、教育、意思決定などの現状や、改善のための国際協力の取り組みについて紹介した。

②対象者および参加人数
高校生28名(1, 2年生)、教員2名

2　出張者氏名　林　裕美

3　依頼元／主催団体名　松江市立皆美が丘女子高等学校

4　実施予定日時　令和4年11月7日　（月）　14:30 ～ 15:20

5　実施場所　皆美が丘女子高等学校クラブハウス2F（島根県松江市西尾町540番地1）

6　実施報告

生徒の感想例:
・トイレや生理用品がないことが理由で学校へ行けない子どもたちがいると知り、驚いた。
・妊娠しても正しい情報を得られず、命を落としてしまう人がいる状況は、私たちも知る必要のある世界全体の問題だと思った。
・女性がおかれている状況を改善するため、家族や男性の理解を深め、自分に何ができるか考えていきたい。

7　写真

<table>
<tr>
<td> </td>
<td>
</td>
</tr>
<tr>
<td>会場の全景</td>
<td>NGO相談員について説明する様子</td>
</tr>
</table>

以上

令和4年12月5日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 高校生向け国際理解教育 （高知県立高知小津高等学校）

企画実施概要: ①実施内容:異文化交流会の中の基調講演として、外務省NGO相談員の活動とSDGsを含めた国際的な取り組み、高知県内で活動するNGO/NPO等、国際理解につながる事例紹介を高校生向けに実施。

②対象者および参加人数
高校生、専門学校生、一般(保護者、教員） 46名

2 出張者氏名 竹内よし子

3 依頼元／主催団体名 高知県立高知小津高等学校

4 実施予定日時 令和4年11月3日（木） 13:00～15:00

5 実施場所 高知県立高知小津高等学校
（住所:高知県高知市城北町1番14号）

6 実施報告 異文化交流の基調講演の中で、NGO相談員の活動や高知県内で活動するNGO/NPOの紹介など国際理解につながる事例紹介を高校生向けに実施。
参加者からは以下のようなコメント・感想があった。
・NGOのことはこれまであまり知らなかったので知れて良かった。視野が広がった。
・NGOが開発途上国で病院や井戸を建てたり、次々出てくる課題に向けて継続して取り組んでいることがわかった。
・国際交流から、国際協力や国際貢献につながっていくことが分かり興味を持てた。フェアトレードにも興味を持った。

7 写真

基調講演	高知県内のNGOを紹介

以上

令和4年12月5日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名:　高校生向け国際理解教育　（高知県立清水高等学校）

企画実施概要:　①実施内容:SDGsおよび貧困・環境・ジェンダーの問題について学習を進めており、外務省NGO相談員の活動とSDGsを含めた国際的な取り組み、高知県内で活動するNGO/NPO等、国際理解につながる事例紹介を高校生向けに実施。

②対象者および参加人数
高校1年生　49名

2　出張者氏名　竹内よし子

3　依頼元／主催団体名　高知県立清水高等学校

4　実施予定日時　令和4年11月4日（金）　8:50-10:40

5　実施場所　高知県立清水高等学校
（住所:高知県土佐清水市加久見893-1）

6　実施報告　外務省NGO相談員の活動とSDGsを含めた国際的な取り組み、高知県内で活動するNGO/NPOの紹介の中にSDGs、貧困・環境・ジェンダーに関連付け、国際理解が深まる内容で実施。
参加者からは以下のような感想・コメントがあった。
・私たちが暮らす社会や世界の課題が自分の中で明らかになった。
・今後、社会や世界のために自分ができることをしたいと思うようになった。留学したい。
・社会や世界で起きていることをもっと知りたい・調べたいと思うようになった。

7　写真

SDGsについて説明	貧困・世界の課題について説明

以上

令和4年11月11日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　おおいたワールドフェスタ2022

企画実施概要：
①実施内容：大分市で11月5日に開催される国際協力イベントに出展し、NGO相談サービス出張サービスとして国際協力に関する一般市民からの相談窓口を設置する

②対象者および参加人数：250名（ブースに立ち寄った参加者）
対象者：国際協力に関心のある一般の方。また、国際協力に取組んでいる団体。

2　出張者氏名　松﨑浩平・加藤綾乃（理由：NGO相談員対応、会場設営・機材運搬等のため）

3　依頼元／主催団体名　大分市国際課

4　実施予定日時　令和4年11月5日　（土）　11：00　～　16：00

5　実施場所　お部屋ラボ　祝祭の広場（住所：大分県大分市）

6　実施報告
イベント当日は、家族連れや将来海外に行ってみたい、大学生の方など多くの方に訪問していただいた。市民の方から寄せられた質問として
「国際協力の参加方法を教えてほしい」
「フェアトレードの仕組みについて知りたい」
「何歳から国際ボランティアは参加できるのか？」
「将来NGOに関わってみたい。ボランティアやインターンで参加できるNGO団体を教えてほしい」という質問が寄せられました。

7　写真

<table>
<tr><td>
</td><td> </td></tr>
<tr><td>ブースの様子</td><td>ブースに訪問した市民へ相談対応</td></tr>
</table>

以上

令和4年11月10日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク
代表理事　二ノ坂　保喜

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名： 糸島市立前原南小学校　出張授業

企画実施概要：
①実施内容
総合の学習の時間に、国際的な問題やそれを解決するための計画立案についての授業を行う

②対象者および参加人数
小学5年生38名

2　出張者氏名 加藤綾乃

3　依頼元／主催団体名 糸島市立前原南小学校

4　実施予定日時 令和4年11月9日　（ 水 ）　13:45 ～ 15:20

5　実施場所 糸島市立前原南小学校（住所：福岡県糸島市）

6　実施報告
国際的な問題やそれを解決するための計画立案についての授業の実施した。
授業を受けた児童からは
・発展途上国の様子を知ってびっくりした。
・SDGs達成に向けて、自分にできることを見つけることができた。
という感想を頂いた。

7　写真

	（写真2）
授業の様子	

令和4年11月22日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名： ドットジェーピー福岡　機関―学生交流会

企画実施概要：
①実施内容
インターンシップに関心をもつ大学生と受入団体との交流会議。ここで発表時間をいただき、団体紹介と共に近縁の国際協力団体やNGO相談事業紹介を行い参加者からの質問に対応する。

②対象者および参加人数
学生21名、団体4団体（各1名）

2　出張者氏名 松崎　浩平

3　依頼元／主催団体名 NPO法人ドットジェイピー福岡支部

4　実施予定日時 令和4年11月19日　（ 土 ）　13:25-16:10

5　実施場所 福岡市城南市民センター（住所：福岡県福岡市）

6　実施報告
当日はインターンシップに興味のある大学生の方へ、NGO団体についての解説や、各団体が行っている支援活動について、また国際協力分野での働き方について解説を行った。参加した大学生からは「NGOという組織について理解することができてよかった」「今後NGOに関わってみたいと思っていたので、自分がどのように関わることができるかイメージできて有意義な時間だった」という感想を頂いた。

7　写真

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>交流会の様子</td><td>交流会の様子</td></tr>
</table>

以上

令和4年12月2日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名　　特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

ＮＧＯ相談員による出張サービス実施報告

ＮＧＯ相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので，下記のとおりご報告します。

記

1　企画名および企画概要

企画名：　沖縄移民・世界のウチナーンチュから考える国際貢献

企画実施概要：　①実施内容　世界に広がる沖縄移民の歴史・世界のウチナーンチュについて解説した後、現在のネットワークを通じた国際的な社会貢献について考えるグループワークを行った。

②対象者および参加人数　東京外国語大学 学生３～４年３4名

2　出張者氏名　佐々木綾菜

3　依頼元／主催団体名　東京外国語大学

4　実施予定日時　令和4年11月30日　（水）　8：30～10：00

5　実施場所　オンライン（ZOOM）

6　実施報告

・県人会や日本人会を中心に現地で日本文化の継承や交流機会が生まれている事を知り、日本における難民受入や外国人支援に必要な受入体制のヒントを学ぶことができた。

・国単位ではなく地域単位で世界とつながるという視点は新しかった。都内や関東のNGOにも目を向けてみたいと思った。

・ワークショップの主人公である日系人の女の子が外国ルーツの子どもたちと重なった。身近な課題から国内でおこっている社会課題を考えることができた。

7　写真

	（写真２）
ブレークアウトセッション機能を活用したグループワークのようす。	

（写真１）　（写真２）

以上